

# スーパービジョンのご案内

## スーパービジョンとは

「熟練した専門職員が初級職員に対しその（社会福祉に関する）職務能力を向上させるために行う支援」<sup>（注1）</sup> のことです。現場のソーシャルワーカーが適切な援助技術や知識に基づいて支援を必要とする人を支援し続けられるようにするのに有効です<sup>（注2）</sup>。

注1）： 柏木昭編・助川助川征雄他著『新精神医学ソーシャルワーク』P169、岩崎学術出版社、2002年

注2）： 助川征雄・相川章子・田村綾子著『福祉の現場で役立つスーパービジョンの本～さらなる飛躍のための理論と実践例～』P14、河出書房新社、2012

## ご利用方法

スーパービジョンをご希望の方は申込書を事務局へ提出のうえ、スーパービジョン契約や実施内容、進め方などは各地認定者と希望者の間でご相談ください。

## 認定スーパーバイザーとは

日本精神保健福祉士協会の認定スーパーバイザー養成研修を修了し、本協会に登録された方々です。認定者に課されている5年ごとの更新研修を受け、登録を継続しています。

## 認定スーパーバイザー

恒任 英雄（所属：青森保護観察所）

これまで出会ったたくさんの方々から学んだことを、自分だけのものにしてしまっただけではいけないと思い、SVRの認定を受けました。実践の中で迷いや、行き詰まりを感じたときこそ、成長のチャンスだと思っています。SVを通して、成長をめざす仲間たちと出会い、歩みを共にしていきたいと願っています。

長谷川 治（所属：青森市保健所保健予防課）

認定SVRの紹介ページに名前を載せて待っているだけではいけないと思い、職場の業務にSVを組み込みました。

現在、隔月で医療機関のPSWなどの方々とグループSVを行っています。経験が浅いPSWは養成校で学んだ専門性を実践できるように、中堅以上のPSWは慣れによっておろそかになっているかもしれないPSWの立ち位置を再確認できるようにするためです。

PSWは経験を積むだけで気づきを得ることに限界がありますので、PSWの成長に不可欠なSVを身近に感じられるように力を尽くしたいと思います。

山田 伸（所属：青森県立保健大学）

気軽に身近なスーパービジョン！あなたのまちのスーパーバイザー！成長したいなあと思ったことはありませんか？迷いや葛藤など感じたことはありませんか？そんな時が、スーパービジョンの機会です。しかし、一歩踏み出すには勇気がいるもの。共に一歩を歩みましょう！その一歩が私たちの成長とクライアントへのよりよい支援につながるのですから。あなたの一歩をお待ちしております。

